

七高SSH通信

H28・10・26
石川県立七尾高等学校
SSH推進室
平成28年度 第10号

SSHサイエンスツアー

10月12日(水)～14日(金)にかけて、1年生理科を対象に、サイエンスツアーを実施しました。サイエンスツアーは、最先端科学の現状を理解し、科学に対する研究意欲を高めることを目的として「本物に触れ、一流の研究者に学ぶ」というスローガンのもと、毎年この時期に2泊3日の日程で実施しています。研修内容は幅広い分野にわたっており、普段、学校では学ぶことのできない事柄について、研究者の方からお話を聞くことで多くの知識を得ることができました。

1日目 埼玉県さいたま市にある鉄道博物館と、和光市にある理化学研究所で研修を行いました。理化学研究所は、日本で唯一の自然科学の総合研究所として、物理学・工学・化学・計算学・生物学・医科学などに及ぶ広い分野で研究を進めている所です。

理化学研究所



鉄道博物館



2日目 午前中は、つくば市内のKEK(高エネルギー加速器研究機構)、土木研究所、建築研究所、物質・材料研究機構、食と農の科学館の5ヶ所にわかれ、グループ研修を行いました。午後からは全員で(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の筑波宇宙センターと地質標本館に行ってきました。JAXAでは、宇宙開発の研究・開発の現場としての取り組みについて説明を受け、ロケットや人工衛星などの実物大のモデル、宇宙飛行士の訓練についての展示など見学し、宇宙開発の現場に触れることができました。地質標本館では、たくさんの鉱物や化石をもとに説明を聞きました。

筑波宇宙センター(JAXA)



地質標本館



つくば研究学園都市



KEK(高エネルギー加速器研究機構)



物質・材料研究機構



食と農の科学館



建築研究所



土木研究所

3日目 東京大学生産技術研究所の本校の卒業生でもある竹内渉先生から講義を受けました。リモートセンシングに関して、わかりやすく説明してくださいました。

竹内先生の講義の後、同じ東京大学生産技術研究所の石井研究室を見学し、錯体と光に関する研究のお話を聞きました。その後、東大の食堂で昼食を取り、新幹線を使って七尾へ帰ってきました。



メモ

2日目の夜、宿舎にて東大へ進学した理数科の先輩と交流しました。



生徒の感想

- 日本の最先端を担う施設や大学に伺い、日本の「今」を見ることができ、貴重な体験となった。
- リモートセンシング技術から、自然災害の被害状況や、地質情報、大気やガスなどのさまざまな情報を得ることができるとわかった。
- 海外に引けを取らない日本の宇宙開発の努力に感動した。

- 目に見えないから実験できないと諦めるのではなく、その対象の性質を利用して、実験や観察を行うのがすごいと思った。
- 最先端だけでなく、これまでの科学の進歩を知ることができました。
- サイエンスツアーはただ話を聞くだけでなく体験型で、実際に見て学べたことが多くあった。今後色々なことに挑戦することが大切だと思った。